

75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	番号	住所・氏名	
せみの音聞いて登るは恋の道	夏空の下で眺める水の広がり	石段を汗して孫の走り行く	石山の滝のしづくにある旅情	湖わたる風の涼しさ式部の間	石山の石の高さへつくつくし	秋の風まがき新たなや幻住庵	御手洗の水面秋空幻住庵	尋ね来て添水直せり幻住庵	芭蕉恋ひ翁偲びて秋の風	世捨て人としての暮し幻住庵	幻住庵一門の円居小鳥来る	月の庵眼下に水の近江かな	秋簾刷毛引く音や染め工房	風の盆婦夫流しや夜半の町	宵月や謡流るる京町家	「売り物件」今を盛りと草の花	陽日和比良に吹く風白帆立つ	大津祭り「所望」の声や二階窓	きざはしの果て山門の涼しかり	深秋の山気のなかや幻住庵	秋空や心は風となつてをり	山霧の異界をつくりゆく速さ	石山の奈落は見えす阿古の風	岩門に彩を添へたる帰りに花	番号	住所・氏名	
守山市浮気町	有宗 智子	島根県江津市	無記名	名古屋市名東区	伊藤 範子	香川県仲多度郡琴平町	宮脇 頼子	高松市三谷町	佐々木 宏風	高松市松島町	藤井 千鶴	記名なし	大津市稲津三	加集 正尊				高松市太田上町	信里 由美子			高松市国分寺町	岡内 公子	番号	住所・氏名		
100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	60	79	78	77	76	番号	住所・氏名	
晴れ空と木陰をすすむ水の音	自販機から出てくる容器小さいな	風が吹きちりんちりんと涼がくる	阿波踊り鳴物遠く父母の墓	蜘蛛や静かさ戻る山の古寺	方丈石籠の日野や柚子黄色	秋冷や袖子茶をすする香が齡	紫陽花のしづくに映る光る君	紫のいろに誘われ石山へ	心中、静心、精神、上昇	かわせみや夏の暑さを感じえる	木の影の水面ゆらすアブラゼミ	晴天が景色いろどるサンガラス	ゆかりの花はひろしなりけり	翠園のだいち踏みしめゆうとうの	目に青し暑さと和らぐゆらぎかな	紙に落つ人の想いはせみの声	公園で夜景横目に花火散る	紫の縁に託つ我がこころ	池の中動めき影の恋行方	屋下がり景色良きかな月見台	眼差しは変わらぬ月をうつしをり	世の中よ鎮まり給へと古寺の鐘	夕立や留っている友の恋	和菓子屋の紺の暖簾や夏来たる	番号	住所・氏名	
府中市美好町	磯飛 希美	大牟田市田隈	小柳 知穂	大津市稲津三	加集 正尊	四日市市桜花台	武田 貴恵	箕面市如意谷	関本 義己	東京都中野区	森 虎太郎	宮崎 優斗	愛知県岡崎市	加藤 美和	海老名市河原口	戸川 七海	さいたま市南区	成瀬 日悠	守山市浮気町	有宗 誠人	吹田市山田東	加川 清一	茨木市上中条	高橋 正純	飛騨市神岡	川上 まな	住所・氏名